

2019年度「実務経験のある教員による授業科目」一覧【人間発達心理学科】

人間発達心理学科	科目名	単位数	担当教員名	担当する教員の実務経験（内容・資格等）	授業科目の教育内容との関連性
1	カウンセリング理論	2	永作 稔	科目担当者の実務経験（カウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、筑波大学や駿河台大学にてカウンセリングセンターの相談員として合計15年以上の勤務実績あり。また栃木県公立中学校のスクールカウンセラーとして3年間勤務した。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラーとして働いた経験は、担当科目「カウンセリング理論」で講義する内容を実践場面で応用したことの蓄積である。実務経験は理論と実践をつなぎ、理論の説明に厚みをもたせることを可能とする。
2	職場のメンタルヘルス (産業・組織心理学)	2	尾崎 健一	科目担当者の実務経験（産業領域での心理支援） 一般企業（製造業）に勤務後、大学院に進学して臨床心理士資格を取得。その後、EAP（従業員支援プログラム）や企業の人事部にてメンタルヘルスの問題への対応を担当した経験を持つ。	実務経験と教育内容との関連性 職場のメンタルヘルスという科目は、産業領域における心理支援の理論や実際について学ぶ科目である。科目担当者の経歴はこの分野の実務上の課題等について、机上の学問だけではなく実践知をふまえて講義するのに有用である。
3	心理アセスメント入門	2	永作稔 東畑開人 伊藤恵子 石田有理 加藤陽子 中村有 (全員が15回を担当)	①永作稔：実務経験（カウンセラー）臨床心理士・公認心理師の資格を有し、臨床心理士・公認心理師の資格を有し、筑波大学や駿河台大学にてカウンセリングセンターの相談員として合計15年以上勤務。 ②東畑開人：実務経験（カウンセラー）臨床心理士・公認心理師の資格を有し、京都大学医学部付属病院、沖縄の精神科クリニック、私設カウンセリング機関で合計10年以上の勤務。 ③伊藤恵子：実務経験（カウンセラー）臨床心理士・臨床発達心理士・言語聴覚士・精神保健福祉士・公認心理師の資格を有し、埼玉県家庭教育カウンセラー・埼玉医科大学総合医療センター・保健所・発育発達支援センター・特別支援教室巡回指導心理士として、合計25年以上勤務。 ④石田有理：実務経験（心理検査員） ⑤加藤陽子：実務経験（スクールカウンセラー）臨床心理士・公認心理師の資格を有し、東京都下の公立中高にてスクールカウンセラーとして10年以上の勤務。 ⑥中村有：実務経験（カウンセラー）臨床心理士・公認心理師の資格を有し、明星大学学生相談センターの相談員、東邦大森病院にて10年以上の勤務。	①の実務経験と教育内容との関連性：実務経験を活かし、青年期に用いる心理アセスメントについて講義することができる。 ②の実務経験と教育内容との関連性：実務経験を活かし、科目の基礎となる病院臨床における心理アセスメントについて講義することができる。 ③の実務経験と教育内容との関連性：実務経験を活かし、科目の基礎となる発達臨床における心理アセスメントについて講義することができる。 ④の実務経験と教育内容との関連性：実務経験を活かし、乳幼児期における心理アセスメントについて取り扱い方について講義することができる。 ⑤の実務経験と教育内容との関連性：実務経験を活かし、科目の基礎となる学校臨床における心理アセスメントについて取り扱い方について講義することができる。 ⑥の実務経験と教育内容との関連性：実務経験を活かし、心理アセスメント全般の取り扱い方について講義することができる。
4	発達・教育相談	2	加藤陽子	科目担当者の実務経験（スクールカウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、東京都下の公立中高スクールカウンセラーとして10年以上の勤務経験を有する。また、十文字中学高等学校にて、教育相談コーディネーターとして勤務。	実務経験と教育内容との関連性 当該科目では、発達および教育の場面で困難が生じている事例に対する支援について学ぶ。担当者は、この分野において長年にわたり実践知を積み重ねており、実務経験をもとに机上の知識だけでは解決困難な厚みのある支援方法を教授することが可能となる。
5	教育相談	2	加藤陽子	科目担当者の実務経験（スクールカウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、東京都下の公立中高スクールカウンセラーとして10年以上の勤務経験を有する。また、十文字中学高等学校にて、教育相談コーディネーターとして勤務。	実務経験と教育内容との関連性 「教育相談」においては、児童生徒の豊かな学校生活に寄与する相談活動について学ぶ。担当者はその経歴から、当該分野の実務上の課題等について詳しい。そのため、理論と実践をつなぐことが可能となり、厚みのある知識の教授を可能とする。

人間発達心理学科	科目名	単位数	担当教員名	担当する教員の実務経験（内容・資格等）	授業科目の教育内容との関連性
6	児童期から青年期の心理臨床	2	加藤陽子	科目担当者の実務経験（スクールカウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、東京都下の公立中高スクールカウンセラーとして10年以上の勤務経験を有する。また、十文字中学高等学校にて、教育相談コーディネーターとして勤務。	実務経験と教育内容との関連性 当該科目では、児童期から青年期の心理臨床で生じる問題について学ぶ。担当者の経歴はこの分野の実務上の課題等について、机上の学問だけではなく実践知をふまえて講義するのに有用である。
7	看護学概論	2	布施 晴美	科目担当者の実務経験（看護師） 看護師・保健師の免許を有し、聖路加国際病院小児病棟で看護師として4年の勤務実績がある。その後は看護師養成教育に15年携わり、その際も病院実習を通じて臨床現場で看護実践を展開してきた。	実務経験と教育内容の関連性 看護師としての実務経験を踏まえて、看護の対象である人間の健康と生活を理解させ、人間が本来持っている自然治癒力の向上を目指すための具体的な看護について学びを深めることをねらいとしている。
8	看護援助方法	2	布施 晴美	科目担当者の実務経験（看護師） 看護師・保健師の免許を有し、聖路加国際病院小児病棟で看護師として4年の勤務実績がある。その後は看護師養成教育に15年携わり、その際も病院実習を通じて臨床現場で看護実践を展開してきた。	実務経験と教育内容の関連性 看護師としての実務経験を踏まえて、特に養護教諭に求められている看護実践力に焦点を当て、看護実践の基盤となる基本看護技術と看護展開の根拠となる知識を身につけることをねらいとしている。
9	小児保健看護学	2	布施 晴美	科目担当者の実務経験（看護師） 看護師・保健師の免許を有し、聖路加国際病院小児病棟で看護師として4年の勤務実績がある。その後は看護師養成教育に15年携わり、その際も病院実習を通じて臨床現場で看護実践を展開してきた。	実務経験と教育内容の関連性 看護師として特に小児病棟での経験を踏まえて、特に学童・思春期の子どもの健康問題に重点を置き、特徴的な感染症や慢性疾患を取り上げ、臨床事例を紹介しながら具体的な看護展開の学びを深めることをねらいとしている。
10	臨床看護実習	2	布施 晴美	科目担当者の実務経験（看護師） 看護師・保健師の免許を有し、聖路加国際病院小児病棟で看護師として4年の勤務実績がある。その後は看護師養成教育に15年携わり、その際も病院実習を通じて臨床現場で看護実践を展開してきた。	実務経験と教育内容の関連性 看護師として特に小児病棟での経験を踏まえて、特に学童・思春期の子どもの健康問題に対する看護支援に重点を置き、より実践的な看護介入のロールプレイを展開し、養護教諭としての看護実践力を高めることをねらいとしている。
11	子どもの生活と保健	2	布施 晴美	科目担当者の実務経験（看護師） 看護師・保健師の免許を有し、聖路加国際病院小児病棟で看護師として4年の勤務実績がある。その後は看護師養成教育に15年携わり、その際も病院実習を通じて臨床現場で看護実践を展開してきた。	実務経験と教育内容の関連性 看護師として特に小児病棟での経験を踏まえて、乳幼児期の子どもの養護技術（抱っこ・おむつ交換・授乳・沐浴）や安全対策等について取り上げ、実技実習を行いながら、乳幼児期の子どもの育児について理解を深めことをねらいとしている。
12	臨床心理学概論	2	東畑 開人	科目担当者の実務経験（カウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、京都大学医学部附属病院、沖縄の精神科クリニック、私設カウンセリング機関で合計10年以上の勤務。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラーとしての実務経験を踏まえて、実践の学である臨床心理学について、現場で生じている臨床的問題と理論とを架橋しながら教育を行う。そもそも臨床経験抜きには講義不可能な科目である。
13	カウンセリング技法	2	東畑 開人	科目担当者の実務経験（カウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、京都大学医学部附属病院、沖縄の精神科クリニック、私設カウンセリング機関で合計10年以上の勤務。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラーとしての実務経験を踏まえて、ロールプレイを主たる教育法として、実践場面における理解の枠組みや対応のなし方などをブラクティカルに享受する。

人間発達心理学科	科目名	単位数	担当教員名	担当する教員の実務経験（内容・資格等）	授業科目の教育内容との関連性
14	心理検査法	2	東畑 開人	科目担当者の実務経験（カウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、京都大学医学部附属病院、沖縄の精神科クリニック、私設カウンセリング機関で合計10年以上の勤務。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラーとしての実務経験を踏まえて、現場で用いる心理検査法について実際に体験をし、そして分析と解釈を行う。心理検査法の中核にはその方法によって可視的になる心を体験するということがあるため、実務経験を踏まえた指導が不可欠である。
15	精神保健	2	東畑 開人	科目担当者の実務経験（カウンセラー） 臨床心理士・公認心理師の資格を有し、京都大学医学部附属病院、沖縄の精神科クリニック、私設カウンセリング機関で合計10年以上の勤務。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラーとしての実務経験を踏まえて、学校現場で生じる様々なメンタルヘルス上の問題について、事例を呈示しながら教育を進めていく。さらには受講生から実体験を募り、それらについて実践的な指導を行いながら、精神保健を理解することを行っていく。
16	発達臨床心理学 （発達心理学）	2	伊藤恵子	科目担当者の実務経験実務経験（カウンセラー）臨床心理士・臨床発達心理士・言語聴覚士・精神保健福祉士・公認心理師の資格を有し、埼玉県家庭教育カウンセラー・埼玉医科大学総合医療センター・保健所・発育発達支援センター・特別支援教室巡回指導心理士として、合計25年以上勤務。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラー・言語聴覚士としての実務経験を踏まえて、出生前から高齢期にいたる各ライフステージにおける発達とその支援について、さまざまな事例を提示しつつ、講義をすすめていく。また、精神疾患の基礎知識、発達障害（神経発達症）の基礎知識などについても、自らの臨床経験に基づき、受講者とともに考えていく。
17	障害児・者の心理臨床	2	伊藤恵子	科目担当者の実務経験実務経験（カウンセラー）臨床心理士・臨床発達心理士・言語聴覚士・精神保健福祉士・公認心理師の資格を有し、埼玉県家庭教育カウンセラー・埼玉医科大学総合医療センター・保健所・発育発達支援センター・特別支援教室巡回指導心理士として、合計25年以上勤務。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラー・言語聴覚士としての実務経験を踏まえて、各障害の診断基準および心理学的特徴に関して、さまざまな事例を提示しつつ、講義をすすめていく。各障害の特徴に配慮した支援の在り方について、自らの臨床経験に基づき、受講者とともに考えていく。
18	乳幼児期の心理臨床	2	伊藤恵子	科目担当者の実務経験実務経験（カウンセラー）臨床心理士・臨床発達心理士・言語聴覚士・精神保健福祉士・公認心理師の資格を有し、埼玉県家庭教育カウンセラー・埼玉医科大学総合医療センター・保健所・発育発達支援センター・特別支援教室巡回指導心理士として、合計25年以上勤務。	実務経験と教育内容との関連性 カウンセラー・言語聴覚士としての実務経験を踏まえて、乳幼児期における、認知、社会性などの諸側面の発達課題について、さまざまな事例を提示しつつ、講義をすすめていく。また、各発達の課題が達成されなかった場合、どのような問題が表れ易いか、そのような問題を未然に防ぎ、発達を支援するには、どのようなことが必要かを事例を通して学ぶ。さらに、発達の問題に対する見解については、さまざまな立場があるため、立場の相違によって支援方法にどのような違いが生じるかに関しても、自らの臨床経験に基づき、考えていく。
19	学校保健Ⅰ	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 養護教諭の実務経験を踏まえ、学校教育における学校保健の意義、学校保健の仕組みや基礎的事項について理解することを目標に講義を展開する。学校保健において大きな役割を持つ養護教諭の活動について実務経験を活かした保健室経営計画・組織活動など、具体的な教授が可能である。
20	学校保健Ⅱ	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 養護教諭の実務経験を踏まえ、学校教育における学校保健の意義、学校保健の仕組みや基礎的事項について理解することを目標に講義を展開する。学校保健において大きな役割を持つ養護教諭の活動について実務経験を活かした保健室経営計画・組織活動など、具体的な教授が可能である。
21	公衆衛生学	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 講義は集団における健康と疾病の予防、健康と疾病との関係について予防医学を中心に講義を展開する。産業看護師としての実務経験が活かし、労働衛生の観点から学校における健康管理・環境管理を中心に、教育者としての生涯の健康を考えていく。

人間発達心理学科	科目名	単位数	担当教員名	担当する教員の実務経験（内容・資格等）	授業科目の教育内容との関連性
22	保健科教育法Ⅲ	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 講義は小中高等学校の保健学習を中心に、養護教諭が行う保健学習を模擬授業を通して実践的に展開していく。養護教諭として現場で保健学習を行ってきた経験を活かし、子どもたちが関心を持てる授業構成の指導が可能である。
23	保健科教育法Ⅳ	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 講義は小中高等学校の保健学習を中心に、養護教諭が行う保健学習を模擬授業を通して実践的に展開していく。養護教諭として現場で保健学習を行ってきた経験を活かし、子どもたちが関心を持てる授業構成の指導が可能である。
24	救急処置活動	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 講義は養護教諭として適切な救急処置活動をするための知識と技術を学ぶ事を目指している。看護師・養護教諭としての実務経験を活かし、児童生徒に多くみられる内科的・外科的な疾患に対する救急処置の方法や止血法・包帯法などの演習指導が可能である。
25	養護教諭実践論	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 養護実習に向けて、保健管理・保健学習・組織活動において養護教諭の実践的な活動について作成・計画し、実践的に学ぶ。養護教諭の経験を活かし、現場で活用できる実践的な内容指導の展開が可能である。
26	教職実践演習 （養護教諭）	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 本講義は、養護実習を終え、学校現場で養護教諭として職務を遂行する前に、再度、4年間の学びから養護教諭とは何かを考察することを目指している。養護教諭としての実務経験を活かし、養護教諭とは何か、養護教諭の職務について実践的な教授が可能である。
27	教職実践演習 （中高教諭保健）	2	鈴木 雅子	科目担当の実務経験（看護師・助産師・養護教諭）看護師・助産師・養護教諭の免許を取得後、助産師として大学病院1年、看護師として企業3年、看護科教員として高校1年、産業看護師として学校法人11年、養護教諭として小・中・高校計14年勤務。	実務経験と教育内容の関連性 本講義は、教育実習を終え、学校現場で保健学習を遂行する際、現代的な子どもたちの健康問題に即した学習が展開できることを目指している。実務経験を活かし、多様な問題を抱える子どもたちの健康に即した実践的な教授が可能である。

合計 54 単位